

学力向上に効果のある取組事例

中津市立株小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

◎授業における取り組み

板書の構造化やUDの視点を取り入れた授業の実践

1. 教室環境のUD
きまりやルールを「見える化」し、安心して学習できるようにする。
2. 人的環境の整備
毎週、人間関係プログラムを行い、居心地のよいクラス集団づくりを行い、温かい雰囲気での学習できるようにする。
3. UDを取り入れたわかりやすい授業実践
 - ①視点化
板書の構造化(大分スタンダード)、ワークシートの工夫等により、見通しを持ちやすくさせる。
タブレット(ロイロノートなど)の活用を行い、視覚化する。
 - ②焦点化
教師が指示や発問を簡潔に示し、取り組むことをわかりやすくする。
 - ③共有化
ペア・グループで学ぶ内容を共有させ定着させる。

板書の構造化①



板書の構造化②

人間関係づくり



ペア・グループ学習



取組の具体②

◎学校での取り組み

- スキルタイムの充実
・朝の帯時間の10分間の読書、5校時前の10分間のスキルタイムにより、基礎基本の定着を図っている。
- タブレットを使つての学習(復習)
・eライブラリやキュービナによる反復練習に取り組んでいる。
- 学習補助員の活用
・本校は複式学級があるが、複式解消のため、学習補助員が2名配置されている。国語・算数・理科・社会の主要4教科は、分かれて学習している。
- 個別指導の充実
・宿題のチェックや授業の定着度を見て、個に応じて休み時間などで指導を行っている。
- 家庭との連携
学期に2回の『株っ子チャレンジ週間』で、保護者に「宿題」「読書」「家での仕事」「寝る時間」などを1週間毎日チェックをしてもらっている。また、保護者の取組目標として、年間を通して意識をもらっている。



学習補助員との授業(5年)

学習補助員との授業(2年)



AIドリルキュービナの活用(6年)